

周辺視目視検査法による外観検査の上手な進め方

- ◆日時：2020年3月11日(水) 10:00～16:30 ◆受講料：(消費税等込) 1名:49,500円
 ◆会場：連合会館 401号室 同一セミナー 同一企業同時複数人数申込の場合 1名:44,000円
 (東京・JRお茶の水駅下車 徒歩約5分)

外観検査の精度向上を図る周辺視目視検査法の進め方と 照明・姿勢・器材の配置等の作業条件改善および 検査員の早期育成について実例を交えて解説する特別セミナー！！

【講師の言葉】

従来検査職場は検査員の経験と感に頼った職種であり半ば聖域化されていましたが、それは一般的に目視検査が集中力に頼った不良箇所の指摘と思ひ込んでおりました。しかし、そんな作業は1時間と持たないことは考えただけでも容易にわかることです。一方、現実的にベテラン検査員は1日中検査をして優れた抽出能力を持続しています。これを集中力の持続と誤った考え方をしていたため、検査の効率化の遅れを招き、検査員の習熟が年単位に達するという職場にしていました。これを、大脳視覚システムまで機能展開することで、より楽な検査方法を確立し2～3週間で十分ベテランと同じ能力に習熟する訓練方法を構築しました。従来の検査では「良く見る」ことが指導されていましたが、機能分析の結果、ベテラン検査員は周辺視、瞬間視、衝撃性眼球運動という視覚システムを活用していることがわかりました。これらの前提条件とリズムによってベテランと同等かそれ以上(生産性は倍)になり、さらに光源の種類や強さを最適化することで検査での見逃しが大幅に削減できます。

本セミナーでは、この「周辺視目視検査法」を理解していただけるように解説します。また、検査法以前の問題(照明・姿勢・器材の配置等の作業条件)に気付かずに検査をしているため、見逃しが日常的に発生し、悩んでいるという状況が非常に多いのが現状です。それを改善するにはどうしたらいいか、という点についても、実例を交えて触れたいと思います。日ごろ検査での見逃しや長期間かかる検査員の育成でお悩みの指導者や管理者、マネジメントされている方々に聞いていただきたい構成となっています。

【受講対象】 特に指定なし、コンサルタントの方も可

【予備知識】 企業での品質管理業務または目視検査業務の経験

【習得知識】 1) 科学的な周辺視目視検査法の理解 2) 検査作業条件の改善

●申込書・2020年3月11日(水)「周辺視目視検査法による外観検査の上手な進め方」

| | | |
|------------|---|--------|
| 会社名 | 〒 | 住所 |
| TEL | | FAX |
| 正式所属 | | 正式所属 |
| 受講者名 | | 受講者名 |
| E-mail | | E-mail |
| 振り込み 予定 | | 通信欄 |

◆プログラム◆

【講師】 周辺視目視検査研究所 代表 佐々木 章雄 先生
 日本IBMにてIEの一環として周辺視目視検査法を発見、日立GSTを経て現在に至る

I. 周辺視目視検査法の特徴

- 1) 従来の官能検査の特徴と問題点
- 2) 大脳視覚システムの機能と限界
- 3) 周辺視目視検査への変更点
 - a) 焦点視力から周辺視力へ
 - b) 集中視から瞬間視へ
 - c) 滑動性眼球運動から衝撃性眼球運動へ
 - d) 欠点探しから良品の確認へ

II. 導入方法

- 1) 原理の正しい理解
この検査方法は、大脳視覚システムの疲労を削減する
- 2) 限度見本の作成
「視覚」記憶の作りこみのために現物で訓練をする
- 3) スムースなハンドリング
1日中作業をすることを考慮した
リズムカルな動作の構築

- 4) 正しい作業姿勢
局所疲労の削減のために必要な作業台と椅子の関係
- 5) 導入時の特徴
リズムが出来ていないとき特有の現象など

III. 見逃し原因に多い検査対象物と光源の関係

- 1) 明るければ見やすいかどうか
照明の明るさ(Lux)より眼に届いた時の明るさが大事
- 2) 検査用途ごとの光源の種類と適用方法
平行光と拡散光の使い分けで
眼精疲労は大きく違う
ビームライトによる透過検査の見逃しの理由
- 3) 単純な見逃しに多い「明順応」と「暗順応」
「明順応」と「暗順応」とはどんな現象か
危険な状況である「訓化」とはどんな現象か

IV. 事例紹介

タイのメーカーで展開した時の事例

◆セミナーお申込要領

●申し込み方法

- ・弊社ホームページの申込欄又は、FAXかE-mailにてお申し込みください。
- ・折り返し、受講票、請求書、会場案内図をお送り致します。
- ・開催日の8日前以内のキャンセルは、お受け致しかねますので、必要に応じ代理の方のご出席をお願いします。
- ・開催日の8日前以内のキャンセルの場合、受講料の全額を申し受けず。

●お支払い方法

受講料は原則として開催前日までにお支払い願います。経理上、受講料のお支払いがセミナー開催後になる場合は、お支払日をお知らせ願います。振り込み手数料は御社の御負担にて願います。

●申込先



(株)TH企画セミナーセンター

〒108-0014 東京都港区芝5-30-1-210
 TEL: 03-6435-1138
 FAX: 03-6435-3685
 E-mail: th@thplan.com

検索 TH企画 → サイト内検索 0311 (開催日)

詳細、その他のセミナーは、ホームページをご覧ください。

<http://www.thplan.com/>